

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスPEACE		
○保護者評価実施期間	R6年 10 月 1 日 ～ R6年 11 月 1 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	R6年 10 月 1 日 ～ R6年 10 月 31 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R6 年12 月1 日		

z

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害特性に応じた柔軟な対応 お子様の特性を理解し、発達段階に応じて、療育プログラムを構成しています。 強みの部分を活かし、苦手な事に対しては苦手意識を減少し、楽しさへ変換するような取り組みを行っています。	全職員がお子様の障害特性を分析し、強み、苦手な部分へのアプローチを実施しています。また、個別対応ではお子様が安心して療育に参加出来るように合理的配慮にも心掛け、環境を整えています。	出来る事の幅を増やして行く為に新たな療育プログラムを導入し、お子様が様々な経験を通して、挑戦出来る機会を増やして行きます。 お子様の個性を引き出す為にも信頼関係を構築し、伸び伸び療育に参加出来る環境を整え、取り組みます。
2	様々な分野からの療育プログラム 様々な分野における専門的な資格がある職員が配置しています。療育内容に合わせて、専門的な知識を活かし、療育を進めています。	総合的な支援の中で体訓面に関しては看護師の指示のもと管理を行っています。運動、機能訓練に関しては体育指導員が身体の動き、機能等を分析した上でADLの向上に合わせ、トレーニングを実施しています。食育では調理師が携わり、栄養面を考え、調理実習のメニューや調理器具の使い方、調理方法等を細かく支援をしています。 音楽療育ではミュージックケア指導員が言語や聴覚、心身の安定を図り、発達段階に応じて的確な支援をしています。生活スキル向上の為に有資格者が職員研修を行い、どの職員も一貫した支援が出来るように取り組んでいます。	持っている知識を知っているだけでなく、お子様により分かりやすく、具体的に実現し、伝えて行く事が大切だと考えます。日々の支援の中で実践し、職員間でのチームワークを強化し、取り組みます。 多様なニーズに応える為に最新の知識やスキルを常に学べる研修やセミナーに参加し、情報交換や経験共有を行います。
3	保護者様との信頼関係 療育の様子や気づきを迅速にお伝えしています。 また、ご家庭での困りごとに対しても、親身に寄り添い、サポートを行っています。	保護者様、お子様のニーズに合わせ、支援計画を作成し、適時、見直しを行っています。常に共通理解を深め、支援に向けての協力体制を整えています。 ご家庭での困りごとに対しても迅速に対応し、必要に応じては関係機関と連携を図っています。	小さな気づきが出来るように保護者様と密に情報共有を行い、安心してお子様を預ける事が出来るように全職員のスキル向上を図り、質の高い支援を心掛けて行きたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や親子交流行事が実施出来ていない状態です。	交流出来る行事は検討しているが実施時期や職員配置等を調整しています。	保護者会、親子交流行事を実施するにあたり、進め方、考えられる課題面を把握し、対策方法を考えます。 事前の準備、リハーサルも含め、進めて行きます。
2	休日の療育時間が長時間な為、お子様に疲れが出ているとのお声がありました。	休日の療育では9時から17時の受け入れになっています。 個別対応、余暇活動、クールダウンも取り入れながら進めています。小規模集団での活動もある為、疲れが出てしまう形になっているように思います。	休日の療育時間を変更する予定です。 9：00～16：00とし、お子様に疲れが出ないように個別学習、集団療育、余暇活動等を構成します。
3	療育終了後の振り返りが十分に出来ていないことがありました。	振り返る為の時間が少なく、記憶が鮮明な状態での振り返りが重要ですが後日に話し合う事もあります。 情報を正しく共有出来ていないと支援の質が下がり、必要な支援が出来ていない場合もあります。	療育終了後には必ず、振り返る時間を設け、職員間で評価し、次の支援に活かされるように取り組みます。 支援の質を向上し、より良い支援が提供出来るように心掛けます。